



SSKP つくしんぼの 会報誌 つくつく通信 No.87

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

NPO 法人はらっぱ「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川 1511 TEL/FAX 042(796)8468

3月は卒業の季節……



つくしんぼは、障がい児が放課後集まって遊ぶ場所として、1996年6月にスタートしました。その当時、代表である私(山下)の長男ヒロキは、幼稚園の年長組。多動が激し過ぎて、どこにも連れて行かれないような状況でした。

未就学の時はすみれ教室があるからいいものの、小学校に入ると行き場がないという現実を知り、当時の学童保育からは障がい児の受け入れを拒否され、「なら自分で始めてしまえ!!」と立ち上げた場所がつくしんぼでした。

あれから13年が経ちました。今年は、長男が生きていれば、養護学校高等部の卒業の年にあたります。

つくしんぼは長男のためにつくった子どものための遊び場です。だから卒業の時は必ずくる。長男が卒業する時になったら、つくしんぼの活動は誰かに任せ、私も長男と一緒につくしんぼを卒業して、次の段階の“何か”を考えていこうと思っていました。つくしんぼを始めた時と同様、おそらくはまた行く場所もないだろうし。また最初から何かを始めなきゃならないんだろうな、と……。

でも、私の計算は思いっきり狂ってしまいました。今から3年前、中学三年を終わった年の春休み、長男が事故でいなく

なってしまいました。

単なる無認可施設だったつくしんぼが「NPO法人」に昇格(?)してしまったのは、長男がいなくなってから2ヶ月後のことでした。長男の事故の直前に申請を済ましていたゆえ、自動的にNPOを取得してしまったのです。

でもそんなこと、NPOになったことなんて、あの時の私にはどうでもいいことでした。長男のために始めたつくしんぼに、長男だけがないという現実だけが重くて、とにかく私はつくしんぼから逃げ出す



ことだけを考えていました。施設の運営なんか早めに誰かに任せてしまい、私自身はとっととフェードアウトしようと真剣に考えました。

でも出来ませんでした。ちゃんとした施設ならまだしも、超虚弱体質のつくしんぼの運営なんていう貧乏クジを引くような仕事、誰も引き受けてくれません。

で、結局ずるずると、私がつくしんぼの代表であり、施設長であり、NPO理事長のまま、今日に至ってしまっています。

* * *

脚本家だった私が福祉の業界に片足を突っ込んで、15年になります。たった15年なのか、もう15年なのか、よくわかりません。ただ15年前のあの頃は、パソコンもインターネットも携帯も、特殊な人の特殊な持ち物だったっけ……。

福祉に関する制度もずいぶん変わりました。よくなった部分もあるし、悪くなった部分もあるような気がします。どちらかというと悪くなった部分の方が多いような気もしています。

そんななかでも、町田市における障がい児にとっての放課後の環境は、いい方向に激変してきたような気がします。

あの頃は、少なくとも私の家の近所の学童保育では障がい児を預かってくれませんでした。今は違います、希望すればほぼ全員の障がい児が学童に入れて貰えます。しかも小学6年生まで。特別支援学校の子も受け入れて貰えるようになり、介助も手厚くなり、送迎もひまつぶしさんが出来て以来、第三者に頼めるようにもなりました。

この町田市における学童保育の環境は、都内では間違いなく一番です。いや、全国的にみても、トップクラスです。たとえば三多摩の他の市では、各学童保育ごとに障がい児枠を決めていて、せいぜい3人ぐらいまでというケースがほとんどだと聞いて

います。

もし、15年前に今の環境があったら、私はつくしんぼを立ち上げていなかったと思います。たぶん。

* * *

ふと思うことがあります。これはもしかして、町田市の計画的な策略だったのではないかと……。

町田市の福祉の歴史は、先輩のお母さん方がつくってきた歴史でもあります。すみれ教室も養護学校も各障がい児学級も各作業所も、そのほとんどが先輩方がつくってきた遺産であると言えます。

そのぶん、町田市の障がい児の親はやたらうるさい。それを黙らしてしまうためにも、なるべく福祉への意識を低くしてしまった方がいい。それには、子どもが小さい頃にラクらせてしまった方がいい。甘えることに体が慣れれば、運動とかしようとも考えなくなるだろうし……。

* * *

長男の命日は、3/28です。

つくしんぼは、毎年この日を祭日と決めています。そして、毎年何かしらのイベントを催しています。

今年は、会場の都合で翌日になってしまうのですが、3/29に長男ヒロキの卒業式を計画しています。たった一人だけのための卒業式です。

15年の間に長男がお世話になってきた方々、そしてこの3年の間に私と私の家族を応援して下さった方々にお声をかけさせて頂いています。ちょっとしたサプライズのオマケつきです。(^^)

* * *

なにはともあれ、長男ヒロキはつくしんぼを卒業します。

そしてつくしんぼも、新たな段階をまた一步のほらなければならぬのかな、なんて思っています。

襖が新しくなりました。(^^)v

つくしんぼは古い農家の一軒家。部屋は和室ばかりで、部屋と部屋の間仕切りはすべて襖です。

その襖は開設以来13年、いいえ、その遥かずっと以前から、40年以上も使用されてきていて、表の紙だけでなく、骨組みまでボロボロ、ささくれだらけの状態でした。

それが今年、全19枚、助成金を受けて、見事に新しくなりました。

真っ白すぎてまぶしいです。いままでいるんなものがペタペタ貼ってあったのですが、新しいともったいなくて何も貼れません。

助成して頂いた中央競馬馬主社会福祉財団様、仲介して頂いた町田市社会福祉協議会様、ありがとうございました。

いつまで綺麗なまま使えるかはわかりませんが……。(^.^);



私がつくしんぼのことを知ったのは、タケオというミュージシャンのコンサートの手伝いで、職員のMさんと出会ったことがきっかけです。私は図々しくも出会った初日になれなれしくMさんに話しかけ、あぐく号泣するという愉快的体験を経て、去年の九月からつくしんぼに足を運ばせて頂いています。

出会ってから約半年、私にとってつくしんぼは、とても大切な場所になってきています。

ふと遊びたくなくて、フラッとつくしんぼに寄ると、いつも子どもたちが明るく元

気に出迎えてくれます。私は子どもと同じように、時にはそれ以上に遊び回って、たまにどっちが子どもかわからなくなりながら楽しいひとときを過ごさせてもらっています。

つくしんぼでは、とても子どもが伸び伸びと過ごしてするように思えます。つくしんぼに来る前に、特別支援学級で働いているので、なおさらそう思うのかも知れません。正直つくしんぼに来るとホッとしてしまう自分がいます。

最近、下の方から腸が飛び出るという愉快かつ残念な病気になるって、子どもたちに会えない時期があり、とても辛かったのを覚えています。退院してすぐ、つくしんぼに遊びに行ってしまうました。

まだ半年足らずなので、知らないことやわからないこともあります。子どもとの関わりの中から、さまざまなことを見て聞いて感じて、私自身の成長につなげていきたいと思います。

今後ともどうかよろしくお願いします。



つくつく通信の裏表紙

みなさんの力で“自閉症の青年が主人公”の映画をつくらせてください!!
映画「ぼくはうみがみたくなりました」 製作実行委員会



映画は、いよいよ3月末には完成の予定です。

4/5に一度、川崎自閉症協会主催で上映会がありますが、その後のことは劇場公開との兼ね合いもあり、上映会に関しては、夏以降になってしまいそうです。お待たせしてすみません。m()m

《ささえる会 ご入会・ご更新ありがとうございました》
小田島様、志賀様、周東様、黛様、友井様、山本様、曾和様、清水様、鈴木様、西田様

《ボランティア・ご寄付ありがとうございました》
三箇山様、石川様、山下様、山本様、桜井様、中島様、大島様、沼田様、石井様、中央競馬馬主社会福祉財団様、町田市社会福祉協議会様
(11月~2月)



つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。

1996年に開所。1998年度からは東京都と町田市から通所デイグループ事業としての補助金を受けてはいるものの、運営面で苦しいのが現状です。

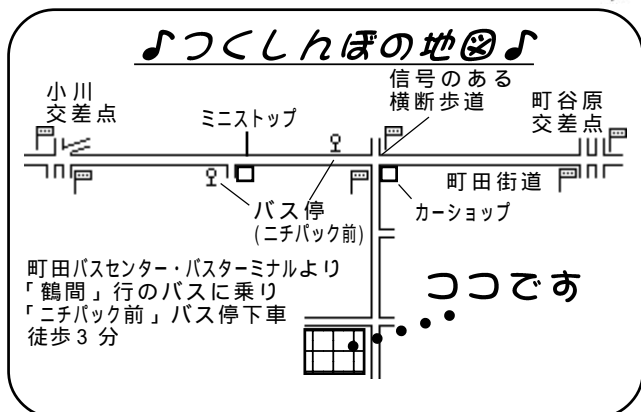
よろしかったら「ささえる会」の会員になってください。年会費2000円(一口)でお願いしております。

会員の皆様には、この会報誌「つくつく通信」を送付させていただきます。よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号
00120-7-168283
加入者口座名称
フリースペースつくしんぼ

ぼくうみ 検索

<http://homepage2.nifty.com/bokuumi/>



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分弱です